

各位

上場会社名	株式会社 テノックス
代表者	代表取締役社長 青木 功
(コード番号)	1905)
問合せ先責任者	取締役経理部長 金丸 英二
(TEL)	03-3582-1873)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,100	△80	△60	△30	△4.50
今回発表予想(B)	8,170	△515	△509	△325	△48.81
増減額(B-A)	70	△435	△449	△295	
増減率(%)	0.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	9,649	130	135	149	22.43

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,300	160	190	100	14.99
今回発表予想(B)	18,500	△480	△480	△325	△48.72
増減額(B-A)	200	△640	△670	△425	
増減率(%)	1.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	20,338	402	404	231	34.74

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,500	△140	△120	△35	△5.25
今回発表予想(B)	5,830	△231	△211	△253	△38.06
増減額(B-A)	330	△91	△91	△218	
増減率(%)	6.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	7,626	221	244	183	27.46

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	90	120	95	14.24
今回発表予想(B)	14,000	△200	△170	△275	△41.22
増減額(B-A)	—	△290	△290	△370	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	14,366	140	181	194	29.08

## 修正の理由

### 1.第2四半期連結累計期間連結業績予想

売上高につきましては、ほぼ前回発表通りの81億70百万円となる見込みであります。しかしながら利益につきましては、個別業績の悪化に加え連結子会社である株式会社テクノクス九州においても、受注環境の悪化等から利益率が低下したこと、営業損失5億15百万円、経常損失5億9百万円及び四半期純損失3億25百万円へ修正を行なうものであります。

### 2.第2四半期累計期間個別業績予想

売上高につきましては、積極的な受注活動によってほぼ前回発表通りの58億30百万円となる見込みであります。しかしながら利益につきましては、徹底した経費削減を進めているものの、受注環境の悪化により価格競争は予想を大幅に上回り低採算工事が増加したことなどから営業損失2億31百万円、経常損失2億11百万円へ修正を行なうものであります。また、投資有価証券評価損1億14百万円を特別損失に計上したことなどにより四半期純損失2億53百万円へ修正を行なうものであります。

### 3.通期連結業績予想

売上高につきましては、ほぼ前回発表通りの185億円となる見込みであります。利益につきましては、主に通期個別業績予想の修正により営業損失4億80百万円、経常損失4億80百万円及び当期純損失3億25百万円へ修正を行なうものであります。

### 4.通期個別業績予想

売上高につきましては、前回発表通りとなる見込みであります。しかしながら利益につきましては、経費削減に全力で取り組んでいくものの、受注環境はより一層の厳しさを増してくるものと思われることから営業損失2億円、経常損失1億70百万円へ修正を行なうものであります。また、期末に年金制度の移行に伴う過去勤務債務80百万円を特別損失に計上することなどにより当期純損失2億75百万円へ修正を行なうものであります。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上